



# 活動事例紹介

各市町村や園、学校などでは、保護者の方々が中心となって多くの家庭教育学級が開催されています。子育てや親育ちをめざし、それぞれ工夫を凝らした活動が行われていますので、県内で実施された家庭教育学級の中からいくつかの活動を紹介します。

在宅取組型（小学校）	43
体験活動参加型＋園行事参加型（保育園）	44
講演会型＋子育てサロン型（中学校）	45
体験活動参加型＋子育てサロン型＋在宅取組型（幼稚園）	46
学校行事参加型＋講演会型＋在宅取組型（中学校）	47

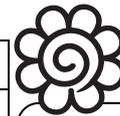
実践例はHPでもご覧いただけます。上記以外にも多数掲載しています。





## 体験活動参加型+園行事参加型(保育園)

保育園名	東白川村立みつば保育園
実施時期・期間	9月(1日間)
会場	東白川村立みつば保育園
参加者	園児と祖父母
学習課題(分野)	昔遊び・お弁当詰め・プレゼント渡し(祖父母参観)
運営者の願い	園の年度の重点として、丈夫な体づくりに力を入れ、その基礎となる食育を大切にしてきました。家庭教育学級の商品も「丈夫な体を作ろう。」でした。園児にとっての給食は、1日の中で最も大事なものの1つです。この年度の祖父母参観日では栄養士さんや給食の委託業者の協力を得ながら、“弁当詰め(バイキング)”を行いました。敬老の日も控えて、祖父母の皆さんと楽しく食事をしてほしいと考えました。
学 習 の 内 容	
<p>1.&lt;祖父母が保育参観と保育参加&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年長児は紙風船などの「昔遊び」、年中児は「折り紙」、年少児はブドウなど季節の「果物の工作」を祖父母と一緒に制作しました。孫との活動を通して、実際に保育に参加しました。</li> </ul>	
<p>2.&lt;栄養士さんの献立についての話&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養面はもちろんのこと、お弁当箱への詰めやすさ、子ども達の人気メニュー、祖父母の方の嗜好などを考慮して献立を工夫しました。(唐揚げ、ひじきの煮物、温野菜、ウインナー、卵焼き、ポテト、オレンジ、+持参したおにぎり)</li> </ul>	
<p>3.&lt;園児と一緒に弁当詰め&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持参したお弁当箱に、美味しいおかずを詰めました。</li> <li>・「これは1個。」などと言いながら、おじいちゃん・おばあちゃんと一緒に楽しく詰めました。</li> </ul>	
<p>4.&lt;楽しいお弁当タイム&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「給食の味付け(ひじき、サラダ)が良くて、美味しかった。」とうれしい話が聞けました。また、食も進みました。</li> </ul>	
<p>5.&lt;うれしいプレゼント渡し&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各クラスに戻ってから、園児からお礼の作品のプレゼントをおじいちゃん・おばあちゃんに渡しました。</li> </ul>	
<p>&lt;参加者の感想より&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とても楽しい企画でした。子どももおじいちゃん、おばあちゃんと一緒に考えながらお弁当を詰めていてほほえましかったです。(祖父母)</li> <li>・食品の量も多すぎたり、足りなくなったりしないように、事前に出欠を取り、人数把握をしました。男性にとっては量が少ないので2品ずつとかにする品があってもよかったかも、残菜もゼロになりました。(給食関係者)</li> <li>・子ども達は、落ち着いて食べていました。祖父母の方と一緒に食べるよさなのか、まったり座ってゆったり会話を楽しんでいました。(保育士)</li> </ul>	



岐阜県家庭教育支援条例第7条には「子どもの祖父母は家庭の教育力の低下を補うため、保護者と協力しながら、家庭教育に積極的に協力するよう努めるものとする。」とあり、祖父母の役割が明記されています。

特に、祖父母ならではの関わりの中で、どの子ども達も落ち着いて食事をしていました。子育てで人生の先輩として、父母とはまた違った力を感じずにはいられていませんでした。一方、おじいちゃん・おばあちゃんの顔もほころんで、園児の数以上の出席率100%超でした。



園長先生の丈夫な体づくりのために“食育”を重点にしていくという経営方針のもとに、栄養士、給食業者らも巻き込んで保育園が一体となった取組でした。

子ども達もおじいちゃん・おばあちゃんと食事を共にする中で、祖父母への思いやりがみられ、ほのぼのとした活動でした。敬老の日を前に、その趣旨を生かした素敵な活動でした。

# 講演会型+子育てサロン型(中学校)

学 校 名	瑞穂市立穂積中学校
実施時期・期間	11月(1日間)
会 場	瑞穂市穂積中学校 武道場
参 加 者	保護者
学習課題(分野)	ミニ学習会 スクールカウンセラーによる講話
運営者の願い	穂積中学校成人教育委員会が年度当初活動計画を決める際に、委員20名にアンケートを取りました。その中に、「思春期の悩みや相談をスクールカウンセラーに聞いたり話したりしたい」という声が多数あり、スクールカウンセラーに相談して実施に至りました。

## 学 習 の 内 容

講師 スクールカウンセラー

<前半 講話:中学生期の特徴>

- ・思春期・反抗期です。体の変化もありますが、心で「自分らしさ」や「自分とは何か」を探る時期です。情緒は不安定で、性の芽生えもあり、周囲の目が気になります。感受性が強くなり、吸収力も高いので、他人からの影響が大きいです。反抗期は、「自立したい」と「甘えたい」の両極端な特徴があります。
- ・接し方としては、「傾聴」と「共感」が必要です。「そうなんやね」とまずは聞くことです。干渉しすぎないことです。親より友だちとの時間を重視します。細かなことまで聞かない方がいいでしょう。一人の人間として接します。子ども扱いはしません。
- ・中学生の悩みは、数年かかってできている場合が多く、解決する方法は簡単ではありません。悩みは一人で抱えるのはつらいので、人に話したりすることで楽になります。また、同じ境遇の人がいると安心します。



<後半 グループワーク>

- ・4人グループになり、配られた用紙に各自の悩みや「こうなってほしい」ということを1つ記入します。
- ・用紙をグループ内の隣の人に渡します。悩みに対する解決策を各自が考え記入します。
- ・3回行って、本人のところに戻ってきたものを読み、その中でやってみようと思えるものを決めます。
- ・グループ内で、自分が決めた内容を発表し交流します。最後に全体でグループ毎に一人ずつ発表しました。



例えば

現 状:子どもが感情のコントロールが不安。物に当たることはない。テレビを見てボーっとしている。早く寝るように言うと「あっちにいけ!」と言う。

対 応:その場を離れ、自分でコントロールする時間をつくったり、ボーっとする時間はそのままにしておいて、しばらくしてから言ったりする。干渉しない距離感が大事ではないか。

というように、自分のことについて話し、他の保護者から意見を聞くことができました。

<参加者の感想>

- ・学校にカウンセリングの先生がいることも知りませんでした。学校にはスクールカウンセラーの先生がいることを知り、何か困ったときには相談したいなと思いました。なかなかこういう交流はないので、とてもいい機会だなと思います。同じ年頃の子どもを持つ親同士で話ができてほんとによかったです。
- ・ワーク方式だったので自分の悩みを伝えやすかったです。参加された方のお話、気持ちや悩みを聞いて、悩んでいるのは自分だけではないと気づきました。アドバイスいただけたので、家庭でも頑張っていきたいと思います。
- ・初めて会ったお母さん方と、子どもが同じ年頃と言うだけで、1つのきっかけを頂ければ、話し合ったり、アドバイスをもらったりできることがすてきだと思いました。また、こんな機会があったらいいなと思いました。



## ●保護者同士の支え合い 自分の悩みを伝える

⇒応えてもらえる

スクールカウンセラーのお話を聞くということはとても勉強になります。さらに、このようにグループワークを行うのは貴重です。

今回の内容は、各自の悩みに対して、3人から考えがいただけるといった、互いを支える活動になっています。

これはまさに、子育てサロンで目指す姿であり、素晴らしい活動です。



## ●子育てサロン型のメリット

- ・話をすることによって悩みや不安の軽減、または解消ができ、自分の子育てに安心感や自信をもつことができる。
  - ・保護者同士のつながりがしやすい。
- (家庭教育学級運営マニュアル「みんなで子育て」P5より)

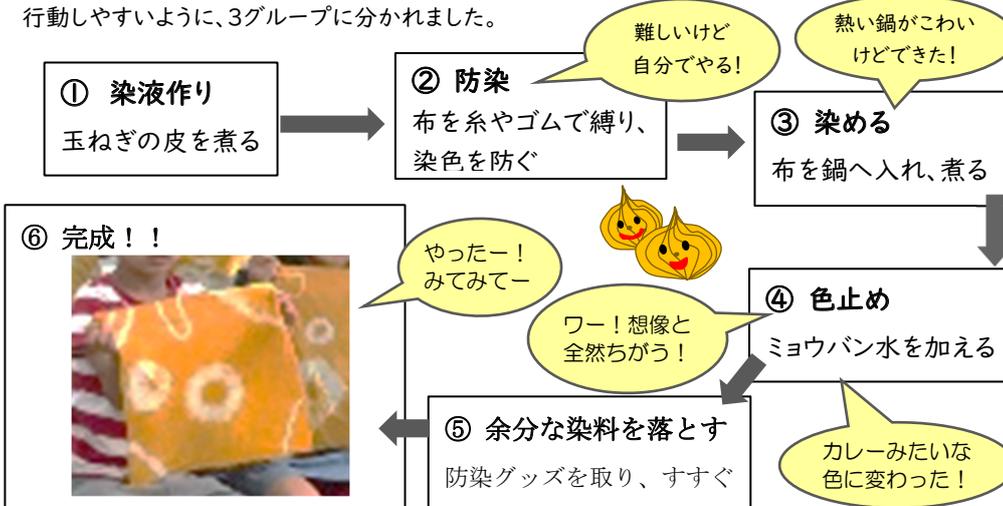
このことは、参加者の感想の中で、実感として語られています!

# 体験活動参加型+子育てサロン型+在宅取組型(幼稚園)

幼稚園名	大垣市立興文幼稚園
実施時期・期間	7月(1日間)
会場	興文幼稚園 保育室・テラス
参加者	園児・未就園児・保護者・先生
学習課題(分野)	玉ねぎ染め体験(食育・ものづくり)
運営者の願い	当園では食育の一環として“園庭で野菜を育てる⇒収穫⇒みんなで調理⇒食する”ことを数多く行っています。今回、自分達で収穫した玉ねぎの皮を用いた“玉ねぎ染め”という食べる以外の体験に繋げ、新しい発見や喜びを親子やみんなと一緒に感じたいと思い企画・実施しました。

## 学習の内容

< 玉ねぎ染め > 講師:玉ねぎ染めの知識がある保護者をお願いしました。  
 ※事前準備:玉ねぎの皮集め(たくさん集まり、先生や保護者のご協力に感謝!)  
 行動しやすいように、3グループに分かれました。



< 参加者の声 > 完成後、各グループで感想を発表。  
 \*同じ道具と材料だけど、出来上がりは様々で驚いた!  
 \*想像がつかない、たった一つの模様が出来てうれしかった!  
 \*思ったよりはっきりと染まり、きれいにできた!  
 \*子供も大人も夢中になり、楽しかった! \*100点満点中100点!  
 \*講師より:自分の作品を誇らしそうに見せてくれて、やってよかったと思いました。



## < ハグタイム >

今日のがんばりをお互いに褒め合うハグタイムを会の最後に行いました。ハグするのは親子だったり、先生とだったり、友達や友達のお母さんとだったり。みんなが分け隔てなく接しており、すごく良い雰囲気の輪が広がっているように感じました。

## < 在宅ワーク >

「ぼくたち わたしたちの たまねぎのゆくえ…」  
 収穫し持ち帰った玉ねぎが、家庭でどんな料理に変身したのか、お手伝いエピソードも交えながら記入し、園の廊下に掲示。染めた布は廊下の天井にフラッグ式に飾りました。  
 ⇒自分の作品を指差し、「これ〇〇が作ったのだよ〜」と得意気に教えてくれたり、友達が家でどんな料理に変身させたのか興味深く見ていたり、お手伝い具合を自慢し合ったりする微笑ましい姿が見られました。



ご褒美シールを貼って、返却

## < 最後に >

今回、収穫から家庭での皮むき、皮集めにはじまり、染めものへと一連の流れを体験することができました。ものが出来上がるにはいくつかの工程があり、時には“待つ”ことも必要であること、「こわい」「むずかしい」「おもしろい」「たのしい」「うれしい」「できた!!」いろいろなことを親子やみんなと感じられた一日でした。

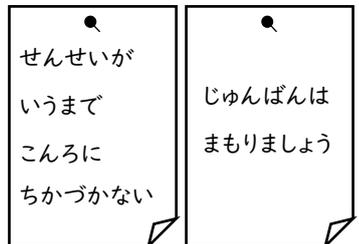


安全を第一優先としながらも、園児達が間近で見ても、実際に自分の手で行うことを重視しました。

## ◆◆火の番◆◆

園児と未就園児も参加するので、火の番と可動式ガードをコンロ前に設置しました。火の番以外の方も側で見守ってくれました。安心できたという声があり、講座に集中できたのではないのでしょうか。

## ◆◆お約束◆◆



約束をひらがなで貼りだし、園児と声に出して確認しました。園児達は鍋に布を入れるのを怖がっていました。「熱いものに近づくことは危ないし、火傷も心配…」けれど、ルールを守り正しいやり方で行えば大丈夫!実際、鍋に布を入れ終わると、ホッとして笑顔が見られました。自分にもできた!という自信に繋がりました。



在宅カードや作品を廊下に展示し、友達の作ったものを見て楽しむことができました。お手伝いエピソードは、「お家でこんなことしてるんだ。自分もやってみよう!」という気持ちに繋がり、保護者の参考にもなりました。夏休みの流しそめんの時には、卒園児と保護者の方にも見てもらえました。

# 学校行事参加型+講演会型+在宅取組型(中学校)

学校名	下呂市立竹原中学校
実施時期・期間	10月(講演会1日間 + 在宅取組4月~12月に4回)
会場	竹原中学校体育館・各家庭
参加者	全校生徒・保護者
学習課題(分野)	「スマホ・ケータイ安全教室」・「わが家の約束」運動
運営者の願い	親子でSNSの危険性について知り、安全な活用ができるようにしてほしい。そして、情報機器使用についての「わが家の約束」に取り組むことで、家族で過ごす時間を大切に、健康的な生活が送れるようにしてほしい。

## 学習の内容

### <取組>

#### 講演会

- ① 母親委員長挨拶「SNSの危険性を知り、正しく安全につき合えるように学びましょう。」
- ② 講師:通信会社 安全教室担当者
  - ◎個人情報載せることの危険性
  - ◎ネット上で知り合った人を安易に信用しない
  - ◎使用のルールやマナーを守る
  - ◎困った時は、自分や友達同士で解決しようとするのではなく、保護者に相談
- ③ 情報機器の使用についてのLPO活動(「わが家の約束」運動)を親子で振り返る



#### <保護者の感想>

- 親と子どもが同じ情報を共有し、家庭のルールづくりを再確認できたことがとてもよかったです。
- 情報機器をうまく活用することや、犯罪などに巻き込まれないようにするために、正しい知識をもつことが大切だと感じました。

### 「わが家の約束」運動

LPO活動(ライフ・プラン・オペレーション活動)※家での生活を自分で計画する、生徒会を中心とした取組

保健だより「えがお」より

#### LPO活動

##### 情報機器の使用について家族で約束を決めよう!

PTA 母親委員会  
竹原中学校 保健室  
生徒会 健康委員会

※情報機器(スマートフォン、ゲーム機、パソコン等)、インターネット等の総称  
例えば、9時までに情報機器の使用をやめて寝る  
平日は1日1時間(休日は2時間)までの使用にして11時までは寝るようになるなど...

約束  
9時までに情報機器の使用をやめ、LPOボックスに入れる

※情報機器等の管理について、当てはまるものに○をつけよう!

○時間になったら前に返す

○時間になったら決められた場所に片付ける

その他( )

※約束の守り方を○をつけていじりつけを×をつけよう

4/27 4/28 4/29 4/30 5/1 5/2 5/3 5/4 5/5 5/6

× ○ × ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

家の人より

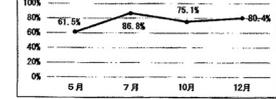
決めた約束を守ることができました。今後も頑張ります。

#### LPO活動の結果

LPO活動の「情報機器の使用について家族で約束を決めよう」という取り組みを9月~12月13日に行いました。その結果をお知らせします。

	5月	7月	10月	12月
1年生	59.1%	86.6%	75.0%	75.0%
2年生	60.9%	78.1%	71.7%	82.7%
3年生	64.8%	96.6%	78.7%	84.1%
全体	61.6%	86.8%	75.1%	80.4%

#### 情報機器の約束が守れたか?



5月に比べて、約束が守れている人が増えてきました。今後も情報機器の使用について、家族で決めた約束を意識して守っていきましょう。

#### <生徒の感想>

家族で決めた約束なので、なるべく意識しました。講演会の時には約束を見直し修正することができました。

#### <生徒の感想>

情報機器の講演会や授業などを通して、自己管理をすることに気づき、意識することができました。

#### <生徒の感想>

12月はテスト期間中の取組だったこともあり、テストの点数も上がりました。

#### <保護者の感想>

- 家族で決めた約束なので、子どもに声をかけやすかったです。
- 「夜9時までに使用をやめる」という昨年度の約束は、なかなか守れなかったが、今年度は家族で決めた約束だったので、子どもも意識して取り組むことができました。
- 学校から取組のお知らせメールが入り、子どもに声掛けすることができました。

### <取組の成果>

- 家庭の実態に合った約束作りをしたことで、無理なく取り組むことができました。
- 母親委員会から保護者へ、生徒会健康委員会から生徒へと啓発したことで、相互に協力、連携がとれました。その結果、情報機器使用についての約束が守れている生徒が増えました。
- 「取組用紙」への親のコメント記入により、親の意識が高まり、見届けにつながりました。



### 母親委員会による計画的で積極的な活動

- ◎情報機器の望ましい活用について、母親委員会を中心とした取組を、数年来続けています。取組内容は毎年見直し、改善しつつ継続しています。
- ◎PTA 総会や講演会時には、保護者役員が講話や約束運動を通しての願いを伝え、積極的にリードしました。

### 親子で共有する講演会での学び

学びを共有し、家庭でのコミュニケーションにつながるように、親子が並んで座り講演会に臨みました。

### 「わが家の約束」運動の意識的な取組

継続中の取組について、振り返りの時間を講演後に設け、親子で改善に向けての相談を親密に行うことができました。

### 保護者間の情報交流

学級懇談会などにおいて、約束運動の取組や情報交流を行うことで、保護者同士のつながりを大切にしました。